

バットィスタが衝撃の走りを披露、インドで相次ぎ記録更新



- ハイパーGT「バットィスタ」が量産車世界最速記録を2つ樹立、1/4マイルスプリント 8.55秒、1/2マイルスプリント 13.38秒
- インドのインドールにある NATRAX で走行テストを実施、「Autocar India」の編集者 Hormazd Sorabjee 氏がドライバーチームに加わり、0-300km/h 加速わずか 10.5 秒を記録
- Hormazd Sorabjee 氏は単独セッションでも最高速 358.03km/h を記録、バットィスタがインドの地を走行したクルマの中で最速であることが正式認定された
- バットィスタはインド国内でテストされた電気自動車 (EV) として最速の称号を獲得
- 「Autocar India」の Renuka Kirpalani 氏は単独セッションで 357.10km/h を記録、インド人女性ドライバーの世界最速記録を樹立
- イタリア生まれのハイパーGT はテスト走行の成功に続き、株主であるマヒンドラ・マヒンドラ社の協力の下、ハイデラバードで開催された「E モーターショー」や、2023 年に Greenko 社がスポンサーを務めた「ハイデラバード E-Prix」にも登場し、インドでのデビューを飾った

- 美しいバットISTAがインドで記録破りの衝撃的な走りを披露した様子はこちら：
youtube.com/watch?v=GWuZ5YruhF8

(2023年2月23日、インド・インドール) 世界最速の加速性能を誇る量産車「バットISTA」は今年2月、インドの自動車走行試験センター(NATRAX)にて、立て続けに速度記録を更新しました。バットISTAはアウトモビリ・ピニンファリーナ(Automobili Pininfarina)が生産するピュアEVです。1/4マイルと1/2マイルのスプリントで世界最速を記録し、インドの道を走行した公道走行可能車両の中で最速の称号を獲得しました。

VBOX データシステムによって検証されたバットISTAの驚異的なパフォーマンスは、1/4マイルスプリントが8.55秒、1/2マイルが13.38秒となり、アウトモビリ・ピニンファリーナ初のラグジュアリーEVが打ち立ててきた目覚ましい記録の中でもとりわけ注目度の高いものとなりました。今回の走行テストは、バットISTAのオーナーやドライバーなら誰でも、その並外れたパフォーマンスを実際に体験できることを証明するために、開発ドライバーのStefano Costaをはじめとするイタリア本社の性能・試験・検証チームに加え、「Autocar India」のHormazd Sorabjee氏とRenuka Kirpalani氏もハンドルを握りました。エキサイティングな走行の様子をまとめた動画は、こちらからご覧いただけます：
youtube.com/watch?v=GWuZ5YruhF8

バットISTAの最高速テストは、ミシュランのタイヤ「パイロット スポーツ カップ 2」を装着して行われました。このテストでは、Hormazd Sorabjee氏がコース上で358.03km/hという最高速をたやすく叩き出し、「Autocar India」がインド最速記録として保持していた332km/hを塗り替えました。Renuka Kirpalani氏は357.10km/hを記録し、インド人女性ドライバーの世界最速記録を打ち立てました。両記録ともFIA加盟のインドスポーツ団体「インドモータースポーツクラブ連盟(FMSCI)」によって承認されました。

続く加速テストでは、ミシュランの「パイロット スポーツ カップ 2R」が装着され、1/4マイルと1/2マイルの2種類のスプリントで量産車世界最速記録を樹立しました。今回のテストで使用されたミシュランタイヤは、どちらもバットISTA購入時に注文可能です。

バットISTAは1,900超の馬力と2,340Nmを発生し、4基のモーターと高度なトルクベクタリングシステムを介して各ホイールに動力を分配します。トルクベクタリングシステムは、イタリア本社の開発センターにて、アウトモビリ・ピニンファリーナのエンジニアがチューニングを行なっています。

アウトモビリ・ピニンファリーナのPaolo Dellachà CEOは次のように述べています。「バットISTAをようやくインドで披露でき、大変うれしく思います。株主であるマヒンドラ・マヒンドラ社(Mahindra & Mahindra Ltd)の協力の下、アウトモビリ・ピニンファリーナにとって大変重要な時期にインドでイベントを開催することができました。当社はイタリアに新設したアトリエで2022年にバットISTAの生産に着手しました。まもなく、世界各地のお客様へのデリバリーがスタートします」

「今年、バッテリーの新たなオーナーとなる皆様は、デザインとエンジニアリングの最高傑作が発揮する、かつてない性能を体験することを楽しみにしていられることと思います。今回の速度記録や各テスト結果を見れば、ラグジュアリーハイパーカーの新世代をバッテリーで牽引しようという我々の想いが達成されたことは明らかです。内燃エンジン車では達成不可能なパフォーマンスを電気のパワーで実現したのです」

「Hormazd Sorabjee 氏をはじめとする『Autocar India』の皆様がバッテリーを運転し、その性能を存分に引き出してくださったことも大変意味があります。ハイパーGT として製作されたバッテリーは、ピニンファリーナブランドの代名詞である美しいデザインとこだわりのディテールを融合させた特別なクルマであり、電動化された究極のパフォーマンスと、ハイパーカーの新基準を打ち立てる車両ダイナミクスを備えています。今回のテストを通し、公道でもサーキットでも、バッテリーの記録破りのパフォーマンスは、すべてのドライバーが享受できるものだということがはっきりと示されました」

「Autocar India」の Hormazd Sorabjee 氏は、彼の同僚であり、公道走行テストの経験が豊富な Renuka Kirpalani 氏と共に、バッテリーにとってインド初となるパフォーマンステストに参加しました。Hormazd Sorabjee 氏は次のようにコメントしています。「バッテリーの猛烈な加速に対して心構えなど何もできません。まるで大砲から打ち出されたような走りです。しかも、NATRAX の高速コースのストレートを半分も走らないうちに、たやすく最高速を発揮することにも驚かされます。VMax に達したときでさえ、バッテリーの安定感は揺るぎなく、滑らかで確実でした。そのスピードに未来を感じます」

インドでのテストに使用されたバッテリーは、むき出しの美しいカーボンファイバーボディに独特のカラーリングが施されています。手掛けたのはアウトモビリ・ピニンファリーナが誇るカラー・マテリアル・フィニッシュ・デザインチームです。この特別なバッテリーは、インドのハイデラバードで開催された「E モーターショー」で大反響を呼びました。また、2023 年に Greenko 社がスポンサーを務めた「ハイデラバード E-Prix」では華麗なデビュー走行を披露しており、その際、マヒンドラレーシングのリザーブドライバーである Jehan Daruvala 氏に伴われ、この EV で市街地コースを走行したのは、クリケットの元スター選手、Sachin Tendulkar 氏でした。

バッテリーはイタリアのナルドにあるテスト施設にて、型式認証の最終段階ですでに、世界記録をいくつも樹立しています。バッテリーは独自のローンチコントロールを搭載し、0-60mph 加速 1.79 秒、0-100km/h 加速 1.86 秒、0-120mph 加速 4.49 秒、0-200km/h 加速わずか 4.75 秒という F1 マシンを凌ぐ加速性能を発揮します: [link](#)。

以上

プレス用問い合わせ先

Dan Connell

チーフ・ブランド・オフィサー

(M) +49 (0) 160 553 0318

d.connell@automobili-pininfarina.com

詳細については、こちらをご覧ください

automobili-pininfarina.com/media-zone

編集者注

アウトモビリ・ピニンファリーナのバッテリースタ ([LINK TO PRESS KIT](#))

バッテリースタは、これまでにイタリアで設計・製造された車両の中で最もパワフルであり、内燃エンジン技術を搭載する現代の公道仕様スポーツカーでは達成できない水準のパフォーマンスを発揮します。0-100km/h 加速は現行 F1 レースカーを凌駕する 2 秒未満、最高出力 1,900 馬力、最大トルク 2,340Nm を誇り、ゼロエミッションパッケージで究極のエンジニアリングとテクノロジーを両立しています。各ホイールに 1 基ずつ計 4 基の電動モーターがあり、120kWh のバッテリーから電力が供給されます。WLTP 複合モードの航続距離は 1 回の充電で最長 476km (300 マイル) です。イタリア・カンピアーノにあるバッテリースタアトリエにて、150 台限定のバッテリースタが 1 台ずつ手作業で製作されます。

AUTOMOBILI PININFARINA について

アウトモビリ・ピニンファリーナは、ドイツのミュンヘンにある事業本部に拠点を置き、ラグジュアリー／プレミアム・カーブランドで豊富な経験を積んだ自動車エグゼクティブチームを擁しています。イタリア国内でデザインとエンジニアリングが行われ、手づくりされるハイパーGT「バッテリースタ」と今後の全モデルは、すべての主要グローバル市場で「ピニンファリーナ」のブランド名で販売されます。世界で最もサステナブルで最も熱望されるラグジュアリーカーブランドを目指す新会社です。同社はマヒンドラ & マヒンドラ社 (Mahindra & Mahindra Ltd) が 100% 出資しています。